

「本格的な始動の年」

南あわじ市長 中田勝久



新年あけましておめでとうございます。輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えたいと心よりお慶び申し上げます。昨年合併という大事業を成し遂げ、「南あわじ市」が誕生し歴史に残る年でありました。行政や各種団体組織事務の変更、市長・市議会議員選挙など、市民の皆様におかれましては、初めての経験や取組みに対し深いご理解とご尽力を賜りましたこと、衷心より厚くお礼申し上げます。

さて、古より人材の育成確保が地域や組織の基本であるといわれてきました。ある企業経営者は人材は人格の形成にあり、人格の形成は仕事や各種活動の積み重ねがなければ確立できない。人格者は地域全体や組織運営の方向性を常に考え、ふるさとに誇りを持ち、周りの者のレベルを上げるとされています。私も人格者たるよう年頭の誓いを立てたところでございます。

今年二月に神戸空港が開港し、六月のサッカーワールドカップドイツ大会では南あわじ市出身の加地選手活躍を期待したいと思っております。十月には全国から多くの方をお迎えし「のじぎく兵庫国体」が開催されます。南あわじ市にとっては本格的な始動の年であります。

現在、すばらしい南あわじの「ふるさと資源」を再認識し、地域の一体性を強化し、市民の皆様方の能力を最大限に発揮していただきながら、更に国内外情勢を見極め、災害対策や行政機能の検証に努めているところで

現状における行政運営としては、今後十年の指針を示す南あわじ市総合計画の策定や行財政機構改革への本格的着手に向けた準備を進めております。防災対策としては、ハザードマップの作成や自主防災組織、防災システムの構築に向け会議を重ねております。少子化対策として、保育サービスや学童保育の拡充、医療費の軽減、入学祝金制度などを充実させてまいりました。

教育関係では、小中学校の耐震工事や診断、大規模改修を進めております。子どもたちの安全確保の一つとして、全小中学

生へ防犯ブザーをお配りしました。生活産業基盤整備として、情報格差の解消を目的に市内へのCATVの普及やデジタル化を進めております。道路整備や上下水道整備、農漁業・瓦産業・観光業の基盤を整備するため、継続及び新規事業や補助の拡大にも努めてまいります。

特に、高齢化率二十五%を超え、全予算の約三十%を占める国民健康保険や老人保健、介護保険特別会計の健全運営に努力しております。

平成十七年度においては、市民の皆様からの要望や必要不可欠な事業をできる限り実施してまいりましたが、現在の情勢は、市全体の地方債残高が七百六十億円を超え、年間予算の約一・四倍にものぼり、地方分権や三位一体改革の進展に伴い地方への負担が増大しております。

少子高齢社会の中で、福祉、教育の水準をできるだけ下げないよう行政改革を積極的に行う必要があります。優先順位を決めながらメリハリのある施策を展開し、時には苦渋の選択も強いられてきます。

市長として、鉄心石腸の精神で市政運営に取り組んでまいりたいと存じますので、市民の皆様方におかれましては、ご助言ご教授いただき、家庭や地域、仕事に精励され、ご活躍下さいますようお願い申し上げます。皆様のご多幸、弥栄をお祈り申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

謹賀新年

平成18年



「新たな歴史に向かって」

南あわじ市議会議長 中村三千雄

希望に満ちあふれた新年を迎えられましたことを、市民の皆様方と共にお慶び申し上げます。

地方分権が急激に進展する中、四町の垣根がなくなり、南あわじ市の種が蒔かれた平成十七年一月十一日より初めての新春を迎えることとなりました。

議会も二十八名の定数による選挙により議員体制も整い、議会機能の充実と、議決・監視機能としての役割を十分発揮しながら、市民に信頼される議会となればならないという使命感を新たにしているところであり



思い起こせば合併の産声を上げてより三十年、時が変わり、人が変わり、社会情勢が大きく変貌する中、三原郡という土壌に芽生えた合併の機運は一時盛り上がり、また消えようとしていた時期もありましたが、根底には古くから培われた気候や風

土、慣習、文化、産業をはじめ、人と人との交流の絆が強く、その想いの糸が切れることなく、住民の代表である議会が先頭に立ち、合併の推進役としてその実現にこぎつけたことは、全国的にも稀であると思えます。それだけに議会に課せられた役割、使命は大きなものがあると思えます。合併協議の中、何事につけても早急に解決しなければならぬ問題が山積してはいますが、市長をはじめ執行部と共々、市民の目線に立った市政の発展と市民の幸せのため、より一層の努力を重ねたいと思っております。また私たち議員一人ひとりが地域にとらわれることなく、大局的に地に立ち垣根を早く取り除き、自覚と責任ある議決機関としての役割を十分発揮することが、合併して良かったといえる豊かなまちづくりにつながって行くことを確信しています。

七州見下ろすゆづるは山のせせらぎが、小川となり、やがて大河となつてとうとうと大海へ注ぐ、新たな歴史に向かって邁進することが責務であり使命である、そんな想いを持ちながら確かな足跡が残る議会でありたいと願っております。



平成17年を振り返って

南あわじ市の出来事

- 1月 10日 緑町・西淡町・三原町・南淡町が閉町
- 11日 南あわじ市が誕生。市役所5庁舎で開庁式。市長職務執行者に長江和幸氏、教育長に森上佑治氏が就任
- 20日 初議会（第1回南あわじ市議会臨時会）議員59人が参集、議長に連池洋美氏が選任される
- 2月 13日 市選挙が行われ、中田勝久氏が当選
- 14日 中田市政がスタート
- 3月 5日 賀集・神子曾遺跡で周溝墓（墓跡）の現地説明会
- 9日 助役に川野四朗氏が就任
- 20日 南あわじ市消防団結団式
- 30日 収入役に長江和幸氏が就任
- 31日 教育長に塚本圭石氏が就任
- 4月 1日 津井・丸山・伊加利・阿那賀小学校を統合した辰美小学校が開校し166人が校門をくぐる
- 下水道施設の広田・津井・賀集・福良浄化センターが供用開始
- J.AきたあまがJ.Aあわじ島と合併し、北阿万支所として業務開始
- 5日 のじぎく兵庫国体南あわじ市実行委員会設立
- 29日 沼島への玄関口、灘ターミナルセンターが完成
- 5月 1日 防災機能を備えた公園、神代コミューニティパークが完成
- 6月 2日 市営住宅・古津路団地が完成
- 4日 農免道路みどり線が開通
- 7月 1日 市西地区では場整備工事に着手
- 3日 兵庫県知事選挙が行われ、井戸敏三氏が再選
- 24日 農業委員会選挙が行われ、30人の委員が決定（無投票）
- 30日 市民まつり・慶野松原花火大会を開催
- 8月 1日 榎列小学校校舎地震補強及び大規模改装工事に着手
- 13日 市民まつり・福良湾海上花火大会を開催
- 21日 国体リハサル大会・全国教職員相撲選手権大会を開催
- 9月 3日 南あわじ市誕生記念式典を開催
- 10日 食まつり・畜産共進会を開催
- 11日 衆議院議員総選挙が行われる
- 30日 名譽市民・直原玉青氏が逝去
- 10月 1日 国勢調査を実施
- 7日 しづおり第2団地新築工事に着手
- 17日 松帆小学校改築工事に着手
- 30日 南あわじ市議会議員選挙が行われ住民の代表28人が決定
- 11月 1日 広田梅林ふれあい公園が開園
- 3日 第15回淡路島女子駅伝競走大会
- 6日 市民まつり・商工ふれあいカーニバルを開催
- 22日 議長に中村三千雄氏が就任
- 28日 東沖田地区では場整備工事に着手
- 30日 ケーブルテレビのサービスエリアの拡大に着手
- 12月 1日 市有施設のアスベスト調査を終える
- 10日 市・木戸原遺跡の現地説明会
- 17日 市民まつり・雪まつりを開催
- 28日 榎列小学校校舎の改装工事が完成